



# 景観づくりワークショップBOOK

景観とは、地域の自然や歴史、文化、生活などが一体となって  
長い時間の中でかたちづくられてきたものであり、  
景観を考えることは、地域について考えることです。  
景観を通して地域を見つめ直してみませんか？



## 景観づくりワーク BOOK とは

本ワークブックは、平成 26 年 10 月～平成 27 年 2 月に宮城県大崎市鳴子温泉地域(川渡地区)と協働で行った景観づくりの取組『まちづくり小学校 2014』の過程と成果を元に作成したものです。

このワークブックは、宮城県内の各地域において住民が主体となって景観づくりに取り組む際の参考資料として活用すると共に、このプログラムを通じて一定期間毎に現状の評価、将来像の検討を行うことで、地域景観を守る人材を継承していくことを目的としています。

## 景観づくりワーク BOOK のねらい

このワークブックを通じて、地域の景観を「まもる」「つくる」「育てる」ために次のようなことが達成されることをねらいとします。

景観を「まもる」：

地域の景観や地域特性についての関心や愛着が芽生える

景観を「つくる」：

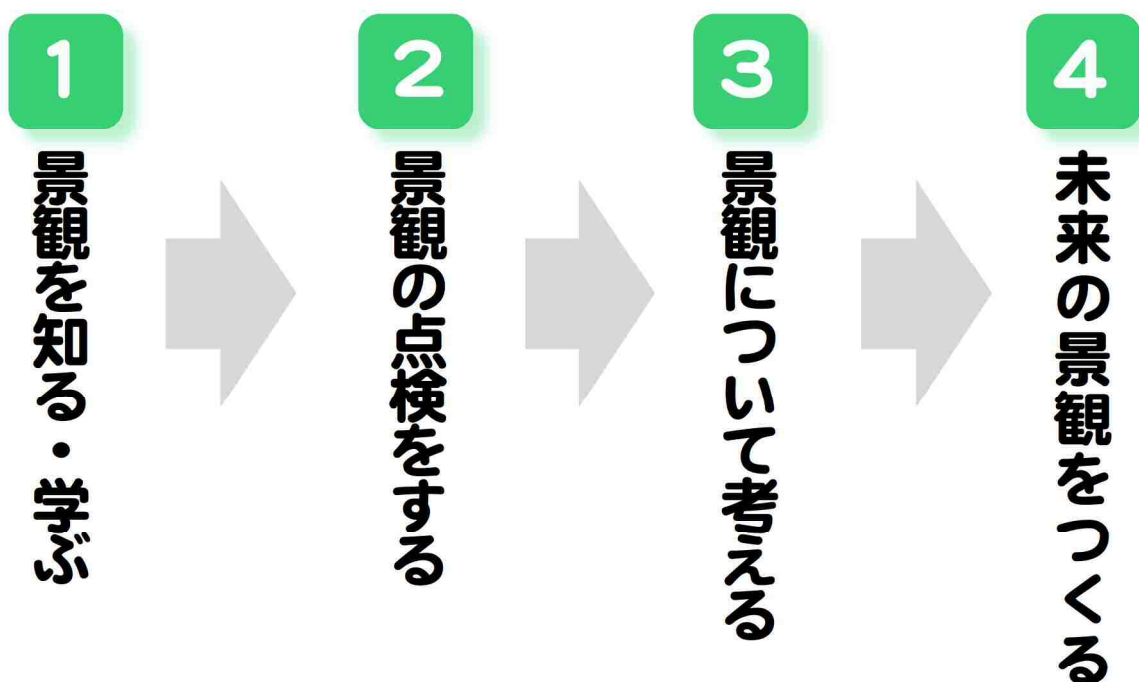
景観は住む人々の暮らしや営みの結果であることに気づく

景観形成の意識を「育てる」：

景観づくりの担い手として主体的に考え行動する

## 4つのステップによる景観づくり

地域の景観づくりのプログラムを4つのステップで考えます。



(情報収集と学習)

(現状評価)

(課題の共有)

(目標の設定)



知る  
学ぶ

なぜ、

景観は大切なのでしょうか？  
身の回りにはどんな景観がありますか？

点検  
する

では、

地域の景観のどこに価値があり、  
どんな課題があるのでしょうか？

考える

いま、

地域の景観をどのように守り、  
どのように活かして行けばよいのでしょうか？

実行  
する

さあ、

地域で声を掛け合い、1人1人が出来る  
ところから1歩ずつはじめてみましょう！

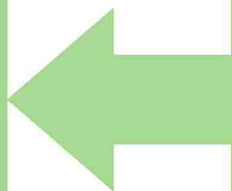
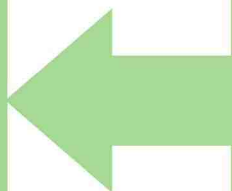


地域景観への  
気付きや愛着

景観を知り・考えるプログラムの実施

景観を楽しむイベント等の企画

持続的な活動



## step 1. 景観を知る・学ぶ



### ねらい

- 暮らしの中にどんな風景があるか考えます
- 先進地の景観づくりの事例や取組について学びます

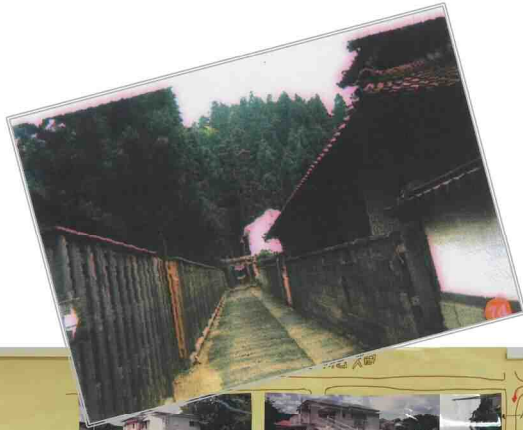
### 方法(例)

- 昔の写真・地図・資料・記憶などを収集し、現在の景観との比較や地域景観成り立ちと移り変わりについて話し合う
- 専門家から景観づくりの先進事例や取り組み方などを学ぶ

### 準備物

- 各家に保管されている昔の写真や地図などの資料
- 景観アドバイザー派遣制度(宮城県)等の活用





▲20年前の小学生が作成したまちなみ図



▲各所から集められた地域の昔の風景写真



## step2. 景観を点検する



### ねらい

- 地域の景観や資源を実際に観察し、現状の把握を行います

### 方法(例)

- まち歩きを行い、実際に見たり聞いたりしながら地域内の景観点検を行う
- 地域の良い景観・改善したい景観・気になる景観等をワークシートに記入する

### 準備物

- 景観点検ルートマップ、景観チェックリスト、地域資源図等の資料など
- カメラなどの記録媒体、筆記具など





下記について点検しながら地域を歩いてみましょう！

気になる景観



- ・
- ・
- ・

良いと思う景観



- ・
- ・
- ・

改善したい景観



- ・
- ・
- ・

その他、まちを歩いて気づいたこと





# まち歩きのヒント

## ■チームに分かれて調査をします（5～6人）

各チームで、リーダー（タイムキーパー）と、撮影係（カメラ）を決めます

## ■チェックポイントを設定し、各人が手持ちの地図上にメモします

カメラ係は撮影・記録を担当します

## ■まちで出会った人にも話を聞いてみましょう



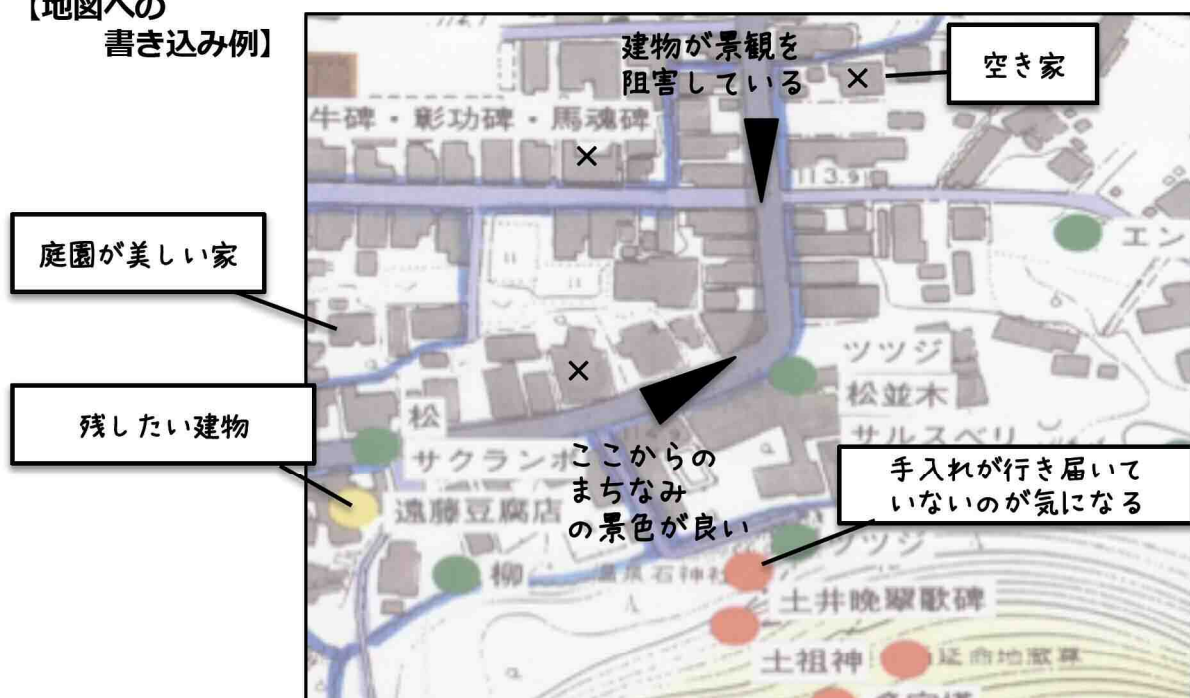
### チェックポイントの例

① 地域資源の状況・移り変わり

② 空き家・空き地の状況

③ 良い景観、改善したい景観、気になる景観（眺めた位置を記入）

【地図への  
書き込み例】







## Step3. 景観を考える



### ねらい

- 地域景観の現状や課題などを整理し、共有します

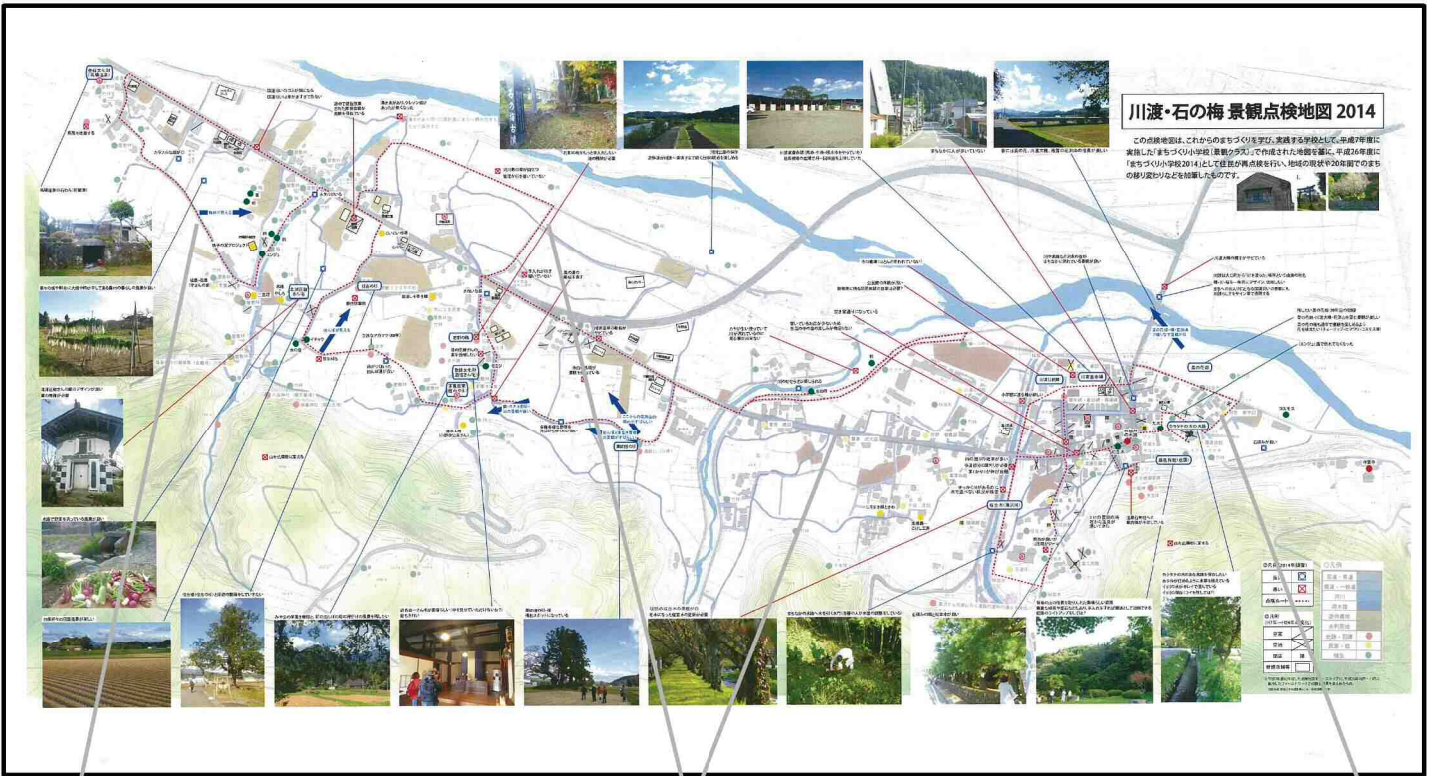
### 方法(例)

- まち歩きで撮影した写真をスライド等で投影しながら情報共有を行う
- 各人が感じた良い景観・改善したい景観について話し合い、意見を整理する
- まち歩きの結果を地図上に集約整理する(景観点検地図の作成)

### 準備物

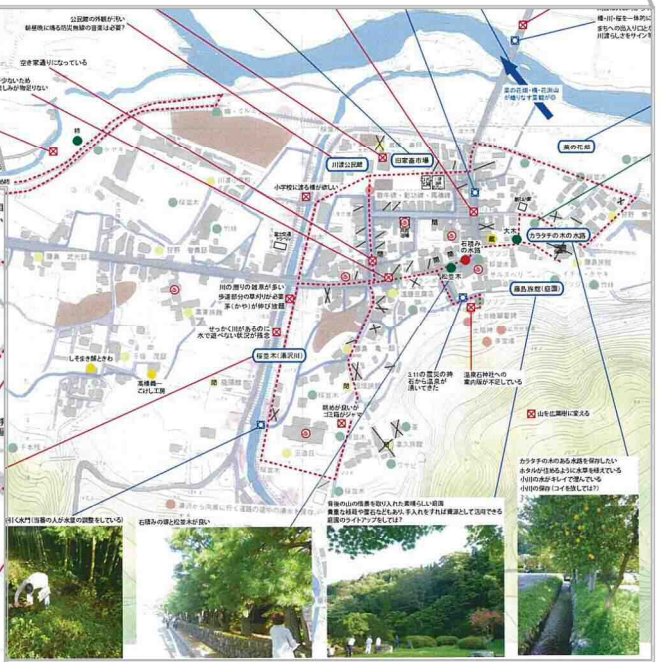
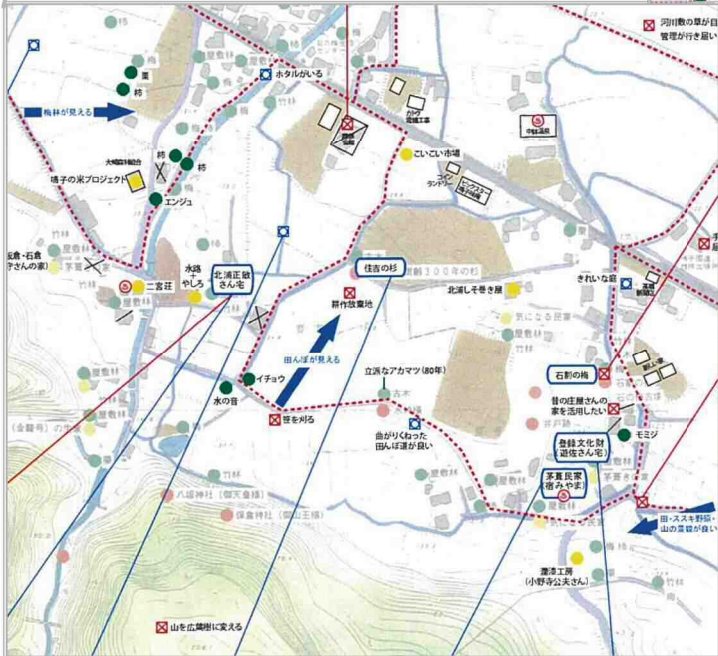
- 大判の地図(景観点検地図作成用)、まち歩きで集めた写真等





### 川渡・石の梅 景観点検地図 2014

この景観地図は、これからのまちづくりの基盤として、平成27年度に実施した「まちづくり小学校」(景観のまち)で作られた地図を基に、平成28年度に実施する「まちづくり小学校」(景観のまち)の調査結果を反映し、地域の現状と今後のまちづくりのあり方を整理したものです。



▲まち歩きの結果を地図に整理

### 川渡地区

川渡・石の梅地区 景観点検の結果まとめ

**良いと思う景観**

- 水路・川・せせらぎ
- 河川敷と菜の花畑
- 鎌倉旅館の塙・自然庭園
- 川沿いの桜並木
- 巨木・古木

**改善したい景観**

- 河川敷の草が伸び放題
- 空き家・空き地が多い
- 人が歩いてない・店が閉まっている
- 河川遊歩道の整備 (川渡～鳴子)
- 四季を通じた景観づくり

### 石の梅地区

**良いと思う景観**

- 里山の暮らしの風景
- 曲がりくねった田んぼ道
- 個人の庭や耕作地での景観作り
- 歴史ある古民家・蔵・ほころ
- 巨木・古木

**改善したい景観**

- 河川敷・道路脇の草が伸び放題
- 橋や看板の補修
- 石割の梅 (地域のシンボル) が手入れ不足
- 空き家や空き店舗が放置されている
- 歩いて楽しめる環境・休める場所



## step4. 未来の景観をつくる



### ねらい

- 将来の地域景観や地域のありたい姿を考えます
- 地域で取り組む景観づくり・地域づくりの方向性をまとめ共有します

### 方法(例)

- ワークシートにより、各人が景観づくりの課題や地域のありたい姿、取り組める事について考える
- ワークショップ形式などで、地域の景観づくりの目標、方向性、地域で取り組むこと話し合う

### 準備物

- 作成した景観点検地図、模造紙、付箋、マジックなど



「まちづくり小学校2014」の成果から





## 次世代に受け継ぎたい地域の姿を描きましょう！

- (1) あなたの地域における、  
景観づくりや地域づくりの課題はなんですか？



- (2) あなたが描く、あなたの地域の20年後のありたい姿は？



- (3) 地域の景観づくりや地域づくりのために、  
あなたが取り組める1歩はどんな事ですか？



## 景観を楽しむ



景観づくりの4つのステップが  
楽しみながら景観を知り・考えるきっかけになる事を期待します。  
地域の営みの結果である景観に様々な切り口から触れ  
1人1人ができるところから地域の景観づくりをはじめましょう！

### 景観づくりワーク BOOK

平成27年3月

作成 宮城県都市計画課

編集 宮城大学